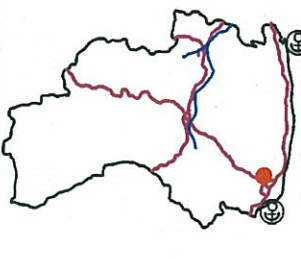


事業名	一般国道49号 平バイパス(直轄) たいら じょうばんかみやだまち (福島県いわき市常磐上矢田町～いわき市好間町北好間) よしままちきたよしま	
事業着手: 昭和56年度	福島県 	
事業の必要性・事業の概要		
「事業の必要性」	一般国道49号平バイパスにおける交通需要は、平成7年の全線暫定供用後も年々増加し続けており、交通が集中する区間や主要交差点付近等で交通混雑が発生しています。また、平バイパスは重要港湾「小名浜港」と常磐自動車道いわき中央ICやいわき好間中核工業団地等を連携するアクセス道路であり、アクセス機能強化が求められております。	
「事業の概要」	一般国道49号平バイパスは、いわき市の市街地部の交通渋滞・沿道の道路環境など、交通をとりまく環境の改善と主要幹線道路としての機能強化を目的とした、いわき市常磐上矢田～同市好間町に至る延長7.7kmの道路です。平成7年9月に全線暫定供用をし、引き続き混雑区間の4車線化、主要渋滞交差点の立体化等を推進し、一層の機能強化を図っております。 平成20年度は平バイパスにおける、いわき市常磐上矢田町～同市好間町中好間間(L=4.8km)の4車線化事業を推進します。	
 ▲位置図  ▲内郷地区の渋滞状況		
現状  27分 いわき中央IC 完成後  7分 20分短縮 ▲平バイパス全線4車線化完成後の効果  ▲供用箇所の全景		
平成20年度補正予算による事業内容		
○上荒川地区において改良工事を行い事業を推進します。		
事業効果		
○渋滞が解消され、平市街地及び重要港湾小名浜港と常磐自動車道いわき中央IC(好間工業団地)のアクセス機能強化が図られます。 ○平市街地の通過時間が短縮されます。(現況:27分→全線4車線化後:7分 約20分短縮)		

安全で安心できる地域づくり 日常生活における安全・安心対策の強化

事業名	お お り ち く 一般国道49号 大利地区防災対策(直轄) (福島県いわき市好間町大利)
事業着手:平成20年度	完成・供用の目標年度:平成21年度完成予定
事業の必要性・事業の概要	「事業の必要性」 当該地区は、大雨による土砂崩壊、落石等の発生の恐れがあるため、事前通行規制区間に指定され、道路防災点検による要対策箇所が点在しており、通行規制時には、道路利用者及び地域の社会・経済活動に大きな支障をきたしているため、早急な防災対策が求められています。 「事業の概要」 当該箇所は国道49号いわき市好間町大利地区の要対策箇所であり、モルタル吹付の亀裂や剥落片がみられるため、法面の防災対策を実施します。 ▲防災対策箇所 ▲防災対策図
平成20年度補正予算による事業内容	○国道49号いわき市好間町大利地区において、吹付法砕工及びロックボルト工の法面工事を実施します。
事業効果	○国道49号は福島県いわき市と新潟県新潟市を連絡する幹線道路であり、第一次緊急輸送道路としても位置づけられており、安全で信頼性の高い道路ネットワークが確保されます。